

# スピリチュアルケアワーク – Holistic Medicine 和学研究 –

<p>担当者</p>	<p>まどかアッセマ庸代（南山大学人文学部心理人間学科准教授）（生命科学論／和学）</p> <p>上野 圭一（代替医療・翻訳家）</p> <p>大下大圓（飛騨千光寺住職・スピリチュアルケアワーカー）</p>
<p>概要</p>	<p>ホリスティックな医療／医学／生命観／学問観を、この身に感じてみませんか。1996年ホリスティック医学研究会が当センターで実り、ホリスティック生命論ワーク・かかわり医療・和学研究が生まれ、いのちのテーマを、2003年よりセルフケア、和語によるスピリチュアルケアというという視点で取り組んでいます。和学研究は、2005年度より和学スピリチュアルケア研究会をしています。</p> <p>生活習慣病予防士・指導士（ホリスティックプラクティショナー）のトレーニングも紹介します。自分や人々やいのちたちとの関わり方・捉え方（生命論的パラダイム）も体験型参加型医のファシリテータートレーニングの場つくりでしていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ホリスティックケア（まるごと 生老病死の医学医療看護生き方）</li> <li>2.スピリチュアルケア（精神性・霊性・たましひ）</li> <li>3.メンタルケア（精神・心理・こころ）</li> <li>4.メディカルケア（医療・医学・看護）</li> <li>5.和学・和語のいのち観（自文化のSpirituality, alternative, civilization）</li> <li>6.科学秩序と宗教秩序と生活秩序</li> <li>7.オルターナティブメディスンと文明のバイオリズム</li> </ol> <p>医療医学科学医学いのちの教育は、本来その時代の精一杯の学問をつなげる総体系と心得ます。21世紀の混沌とした価値観探りの時期に、静かでダイナミックな自身を意識しつつ、日本人の身に似合った和学・いのちの学問つくりを夢見つつ。．．．．．</p> <p>担当者は、「まどかなる」を「ホリスティック」の和語として、「自文化に根ざした」「自己統合力」を意識して、サロンの参加型研修会を企画しました。どうぞ、お出まし下さいませ。</p> <p>Holistic（ホリスティック）という言葉は、ギリシャ語のholos(全体)を語源とする。</p> <p>派生した言葉にwhole全、heal癒、holy聖、health (heal+th癒された状態)等があり、健全な状態、健康という言葉自体がもともと『全体』に根ざしている。．．．．．</p> <p>現在、「全体」「関連」「つながり」「バランス」といった意味をすべて包含した言葉として解釈されている。的確な訳語がない為、そのまま「ホリスティック」という言葉が使われているが、意味する内容は決して新しく輸入された考えではなく、もともと東洋的に根づいていた、包括的な考え方に近いものといえる。（日本ホリスティック医学協会より）</p> <p>&lt;ホリスティック医学の定義&gt; 1.ホリスティック（全的）な健康観に立脚する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2.自然治癒力を癒しの原点におく</li> <li>3.患者が自ら癒し、治療者は援助する</li> <li>4.様々な治療法を選択・統合し、最も適切な治療を行う</li> <li>5.病の深い意味に気づき自己実現をめざす</li> </ol>
<p>日程</p>	<p>水曜日 5回 18:30~21:00</p> <p>2008年10月8日/15日、11月12日/19日、12月10日</p>
<p>定員</p>	<p>20名</p> <p>本講座は、担当者も含めて皆で研究研修し、体験から気づきあう参加型ファシリテーターレッスンの場です。</p> <p>参加者はいのち、生活習慣病予防士・指導士、ケア、かかわり医療に関心のある方すべて。既にホリスティックな看護医療医学関係者、生活習慣病予防士・指導士、内科医、外科医和漢方関係者の協力が予定されています。</p>
<p>会場</p>	<p>南山大学 D棟</p>
<p>受講料</p>	<p>受講料 15,000円〈税込〉</p>